

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10586003				
授業名	宗教社会と民族文化 C	形態	講義	単位	2
担当教員	小林 惇道				
開講学期	2025年度 前学期	曜日・時限	水曜2限		
授業目的	世界の多様な宗教、民族文化について学び、その特徴と社会的意味について理解する。				
授業内容	宗教は人間にとってどのような意味をもち、どのような現象としてあらわれ、いかなる文化を形作り、人びとにどのような影響をもたらしてきたか。こうしたことを理解するために、本講義では以下のことを学ぶ。①現代日本の宗教状況をおさえて、宗教を現代に生きる私たちが学ぶ意義を理解する。②宗教の定義、起源、類型について学ぶ。③「世界宗教」（仏教、キリスト教、イスラーム）をはじめとする諸宗教について学び、その世界観と人間観を理解する。④宗教を理解するために欠かせない「祈り」「儀礼」「祭り」「死後世界」「聖地と巡礼」「修行と戒律」といった宗教の諸要素について学ぶ。				
到達目標	①世界と日本の諸宗教の概要についての知識を獲得する。②宗教の世界観、宗教のもつ影響力について理解できる。③宗教や民族文化の多様性について理解し、社会の中で生かせる知識・教養を身につける。				
ディプロマポリシーとの関連性	<大DP1-（５）> 人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。				
授業形態	講義形式を主体として授業を展開する予定である。くわえて、授業内容と密接にかかわる映像を適宜用いる。				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	ISBN：9784335001529, 「プレステップ宗教学 第3版」（PRE-STEP）, 石井研士, 弘文堂, 2020年				
評価方法	試験点数、事後学習提出物をもとに評価する。				
評価基準	試験50点、事後学習提出物50点 合計100点				
試験・レポート等のフィードバック	14回目に試験を行い、15回目に試験の解説を行う。その他に毎回、事後学習を課しその成果を提出してもらう。 14回目の試験をやむを得ない事情で欠席した場合は、個別に対応する。				
注意事項及び履修条件	事前学習、事後学習にしっかり取り組むこと。				

S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満

第1回	
事前学習	テキスト「第1章 宗教学への招待」の一部p.6-p.7を読んでおく。
授業内容	講義の概要、学習方法、注意点などのオリエンテーションを行った後、宗教学とは何かを確認する。
事後学習	人類にとって顕著な普遍的価値を有し、未来へつなげていくべき文化や景観として世界各地に存在する「世界遺産」と宗教との関わりを調べる。
参考文献	
第2回	
事前学習	テキスト「第12章 現代日本の宗教」p.146-p.157を読んでおく。
授業内容	現代日本人の宗教意識、日本の宗教状況を学び、日本人にとって宗教とはどのようなものであるかを理解する。
事後学習	自身や家族が行う宗教行事や慣習について調べる。
参考文献	
第3回	
事前学習	テキスト「第1章 宗教学への招待」p.6-p.17を読み、諸宗教の概要を理解する。
授業内容	宗教とはどのようなものであるか、宗教の起源、世界宗教と民族宗教の違いなどから考え、諸宗教の概要を学ぶ。
事後学習	自分自身にとって宗教とはどのようなものかについて考える。
参考文献	
第4回	
事前学習	テキスト「仏教」p.158-p.159を読み、仏教の教義の概要について理解する。

授業内容	仏教の教義と歴史、シャカの生涯と教えの特徴について学ぶ。
事後学習	仏教を主に信仰する国を一つ選び、その国における仏教の影響力についての理解を深める。
参考文献	
第 5 回	
事前学習	テキスト「キリスト教」p.160-p.161を読み、キリスト教の教義の概要について理解する。
授業内容	キリスト教の教義と歴史、イエスの生涯と教えの特徴について学ぶ。
事後学習	キリスト教を主に信仰する国を一つ選び、その国におけるキリスト教の影響力についての理解を深める。
参考文献	
第 6 回	
事前学習	テキスト「イスラーム」p.162-p.163を読み、イスラームの教義の概要について理解する。
授業内容	イスラームの教義と歴史、ムハンマドの生涯と教えの特徴、聖地メッカについて学ぶ。
事後学習	イスラームを主に信仰する国を一つ選び、その国におけるイスラームの影響力についての理解を深める。
参考文献	
第 7 回	
事前学習	テキスト「第9章 聖地と巡礼」の一部p.104-p.107を読み、聖地エルサレムの概要について理解する。
授業内容	エルサレムの歴史と、ユダヤ教、キリスト教、イスラームの聖地としてのエルサレムの成り立ちを学ぶ。また、エルサレムをめぐる問題の背景を考える。
事後学習	エルサレム、パレスチナをめぐる問題について調べる。
参考文献	
第 8 回	
事前学習	テキスト「第2章 祈り」p.18-p.29を読み、宗教における祈りの概要を理解する。
授業内容	人びとはなぜ祈るのか、諸宗教の祈りの型と意味について考え、宗教における祈りを学ぶ。
事後学習	自分自身にとって祈りとはどのようなものかについて考える。
参考文献	
第 9 回	
事前学習	テキスト「第3章 儀礼」p.30-p.41を読み、儀礼の概要について理解する。
授業内容	儀礼の種類について確認し、なぜ社会や共同体で、儀礼が必要とされるのか、儀礼の構造、機能、意味について考える。
事後学習	自分自身や家族が行っている儀礼について調べる。
参考文献	
第 1 0 回	
事前学習	テキスト「第4章 祭り」p.42-p.53を読み、諸宗教の祭り、祭りの構造について理解する。
授業内容	諸宗教の祭り、祭りの構造について理解し、社会や共同体の中で祭りを行うことの意味やその機能について考える。
事後学習	自身や家族が参加したことのある祭りについて調べる。
参考文献	
第 1 1 回	
事前学習	テキスト「第7章 死後の世界」p.80-p.92を読み、各宗教や世界の死後の捉え方について理解する。
授業内容	諸宗教では死後の世界に対して、どのような考え方や教えを示しているかについて学ぶ。また、諸宗教の死者救済、死後世界と医療との関連について学ぶ。
事後学習	諸宗教から一つの教団を選び、その教団が死後の世界をどう説いているかについての理解を深める。
参考文献	
第 1 2 回	
事前学習	テキスト「第9章 聖地と巡礼」p.104-p.116を読み、聖地・巡礼の概要について理解する。
授業内容	日本における伝統的な聖地・巡礼の歴史的展開を確認し、人びとにとっての聖地・巡礼の意味について考える。また、メディアやアニメを通して新たに生み出される「パワースポット」や「聖地」について学び、現代日本人の宗教観について考える。
事後学習	日本の聖地・巡礼のうち一つを選び、その歴史と人びとにとっての意味についての理解を深める。
参考文献	

第 1 3 回	
事前学習	テキスト「第5章 修行と戒律」p.54-p.65を読み、諸宗教の修行について理解する。
授業内容	諸宗教が行う修行と、諸宗教がもつ戒律、そしてそれらの宗教的意味を考える。
事後学習	諸宗教から一つの教団を選び、その教団が行う修行についての理解を深める。
参考文献	

第 1 4 回	
事前学習	試験へ向けての準備を行う。
授業内容	試験を60分で実施する。残りの時間で解説を行う。 14回目の試験をやむを得ない事情で欠席した場合は、個別に対応する。
事後学習	試験の振り返りをしてくる。
参考文献	

第 1 5 回	
事前学習	試験の振り返りをしてくる。
授業内容	試験の解説を行うとともに、本講義全体の振り返りを行う。
事後学習	講義内容を再確認し、理解を深める。
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<大DP-1>【社会の構成員としての基本的知識・技能・能力】 <大DP1-（１）> 日本語や英語のコミュニケーション能力を修得している。 <大DP1-（２）> 情報リテラシーや数量的スキルを修得している。 <大DP1-（３）> 課題発見・問題解決能力を持ち、主体性をもって協力し合う態度を身に付けている。 <大DP1-（４）> 自己管理能力、倫理観、リーダーシップ、市民としての社会的責任、生涯学習力を修得している。 <大DP1-（５）> 人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。 <大DP-2>【専門教育分野における知識・技能・能力】 <大DP2-（１）> 自らが学んだ学位プログラムの基礎となる原理・原則を理解し、それに基づく体系的専門知識を修得している。 <大DP2-（２）> 修得した体系的専門知識を、実践の場において活用する技能や態度を修得している。
-----------	---